

令和4年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号	
部	総合政策部	課	文化振興課

1. 指定概要

施設概要	名称	近江八幡市立安土文芸の郷公園		建設年	平成 6 年（大規模修繕 年）	
	所在地	近江八幡市安土町桑実寺 7 7 7 番地ほか		利用対象	全市	
	設置目的	①市民の文化、芸術の向上を図る。 ②文化を振興し、国内外との交流の輪を広げること。 ③創造的文化的活動と生涯教育の推進を図ること。 ④観光および地場産業の振興を図る。 ⑤体育の振興及び健康の増進を図る。 ⑥市民の年齢、体力に応じた運動機能訓練の場の提供と健康増進を図る ⑦高齢者から子どもまで多世代の市民がふれあい、集うことにより、地域交流を図る。				
	規模	敷地面積 116,000㎡、延べ床面積 7,045.74㎡(文芸セミナリヨ：1,938㎡・地上2階 あづちマリエート：3,733㎡・地上2階 安土城天主信長の館：785㎡・地上2階 文芸の郷レストラン：220㎡ 文芸の郷練習場：224㎡ 多世代交流館：145.74㎡)				
	指定管理開始年度	平成 18 年				
指定管理者	名称	公益財団法人 安土町文芸の郷振興事業団				
	所在地	近江八幡市安土町桑実寺 7 7 7 番地				
指定管理業務の内容	①施設又は設備（以下「設備等」という。）の使用及び使用の許可等に関する業務 ②施設等の維持管理に関する業務 ③施設等の利用に関する料金の徴収等に関する業務 ④文化、芸術の振興をはかるための事業 ⑤体育の振興及び健康の増進をはかるための事業 ⑥安土文化の振興普及に関する事業					
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和5年3月31日 （3年間）					
指定管理料	令和2年度： 44,503千円	令和3年度： 44,503千円	令和4年度： 44,503千円	令和5年度： 44,503千円（見込）		
利用料金制	採用している	選定方式	公募	応募者数	1	

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和4年度実績	所管課による検証
施設の維持管理業務		<p>(目標) 安心安全で快適に利用できるよう施設の維持管理を行う</p> <p>①保守点検業務 ・施設等の適切な日常点検、法定点検、定期点検、検査等により施設等の維持に必要な保守管理を行い利用するのに支障のない状態に維持する。</p> <p>②清掃業務 ・日常清掃(日単位での通年清掃)、定期清掃(ガラス清掃や不定期な清掃など月単位の清掃)、特別清掃(ワックスかけ等年単位の清掃)の実施により埃、ごみ、汚れのない清潔な施設を維持する。</p> <p>③修繕業務 ・施設の利用に支障のないよう適切な修繕業務を行う。ただし、修繕内容に応じて市と指定管理者が協議のうえ実施する。また、1件100万円以上の工事については市の対応により行う。</p> <p>④施設周辺の保全業務 ・施設周辺の樹木植栽及び植栽地内の美観保持、剪定、除草、害虫駆除等地域への防犯協力も含めた保全業務を行う。</p> <p>⑤備品管理業務 ・施設内備品の日常管理・点検を行い適切な管理を行う。 ・各種消耗品の補充を適宜行う。</p>	<p>①保守点検業務 ・機械警備、法定点検を含む設備点検等一部委託により実施、その他日常点検については、マニュアルやチェックシートにより実施し、施設の維持に必要な保守管理を行なった</p> <p>②清掃業務 ・床面洗浄ワックス、ガラスクリーニング(高所含む)、じゅうたん洗浄など一部委託により実施、日常清掃についてはマニュアル、チェックシートにより実施し快適な施設の維持管理を行なった</p> <p>③修繕業務 ・安土城天主信長の館の空調設備、照明器具や非常用照明の修理や更新、文芸セミナーヨの防火設備の警報不良箇所調査など、26件1,973,281円分の修繕を行った。</p> <p>④施設周辺の保全業務 ・巡回による点検を実施し利用者の安全確保と清潔な環境の確保に努めた ・あど木っずらんど・マレットゴルフ場にあつては、令和3年8月に付近で発生した山崩れやこれと同時に通路の一部が崩落したため、安全確保のため立入禁止の措置をとつた</p> <p>⑤備品管理業務 ・施設内備品の日常管理・点検を行い、業務を行うにあたり必要最低限の備品を購入した ・消毒液やトイレトペーパーなどの各種消耗品の補充を行った</p> <p>⑥各工事における工程会議や協議等に参加し、工事が円滑に進むよう協力した</p>	<p>(よかつたと評価できる事項) 施設の利用者が安全に過ごせるように、スタッフが日常点検を実施し、修繕等が必要な箇所については、緊急性や必要経費等を鑑み、市と連携しながら対応した。また、施設周辺の樹木管理や除草作業、花壇の手入れなど敷地内の美観が維持された。</p> <p>(改善を要した事項と対応) 修繕が必要な箇所について、現状把握と計画的な修繕の実施。市で対応する部分についても、まずは指定管理者で現状・必要経費等の把握に努められたい。</p> <p>(課題) 各施設において老朽化が進み、経年劣化による機器の故障、建物や屋外看板の損傷等、修理・修繕の必要箇所が増加している。</p>
		<p>(目標) 利用者の満足度を高めるサービスの提供</p> <p>①施設及び設備の使用の許可と料金徴収に関する業務 ・公平で適正な施設の貸出業務と適正な料金の徴収を実施する。</p> <p>②利用者の安全対策に関する業務 ・利用者の安全を確保するための対策や体制を整備する。</p> <p>③設置目的達成に資するための業務 ・市民の文化的健康的な生活の向上に寄与できる事業展開の実施。 ・公益性を念頭におき利用者が満足し期待感の持てる運営の実施。</p> <p>④サービスの向上に関する業務 ・マーケティング機能を強化し利用者の満足度を把握分析し改善を図る。 ・施設を清潔に保ち創意工夫により利用者の利便性を向上させる。 ・各種トラブル、苦情に迅速かつ適切に対応する。</p>	<p>①施設及び設備の使用の許可と料金徴収に関する業務 ・使用料等は各条例・規則や協定の定める範囲内で、事前に承認済の料金で適正に徴収した</p> <p>②利用者の安全対策に関する業務 ・事故や災害時に備えたマニュアル作成や、緊急時に備えた訓練を実施した ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入場(館)者に対する自動体温計の設置や消毒液の設置など、各施設におけるガイドラインに従つた措置を行った</p> <p>③設置目的達成に資するための業務 ・市民ニーズの多様性に応え、生涯を通じて文化芸術に触れる機会を提供できる事業や健康増進につながる事業を展開した ・観光物産協会が実施した観光キャンペーン割引やJRやまちづくり協議会等が実施した観光振興事業に参加した ・信長の館においては、マスメディアの対応を行った。また、予算の範囲内で広告掲載などPRを行った ・びわこビジターズビューローや市観光物産協会等に加盟し、情報を発信した ・安土地域観光関連団体ネットワーク会議に参加し、観光に関連する情報や意見交換を行った</p> <p>④サービスの向上に関する業務 ・各種の地域券やクーポン券等行政が発行する金券の受け入れを行った ・信長の館にあつては、JAF割引、HOPカード割引や安土城考古博物館共通券割引等を従来同様に実施した ・各施設の迅速な修繕などにより、利用者の安全等を図つた ・苦情やクレーム等に対して、可能な限り迅速に対応した</p>	<p>(よかつたと評価できる事項) 自主事業については、全ての事業でアンケート調査を実施。アンケートの回答を踏まえ、次年度の事業に反映している。また、体育施設では、第3者委員会を設置し、事業効果の検証や改善点などアドバイスをいただき、健康増進事業の実施と啓発を行った。</p> <p>(改善を要した事項と対応) 特になし。</p> <p>(課題) アンケートの結果から、より幅広い市民に文化的・健康的な生活の向上に寄与できる事業展開につなげる。</p>
施設設置の目的達成状況	(施設サービスの運営向上策)			

	<p style="text-align: center;">（提案内容の 自主事業 その他の業務）</p>	<p>（目標）生涯を通して文化芸術に触れていただける事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢文芸セミナーヨ ・パイプオルガンを活かした個性的な事業実施と地域密着型のホールを目指す ・地域に即した自主事業実施による収入増と経費節減を図る ・県内外の施設との連携や音楽団体とのタイアップなど地域活性化を図る ➢スポーツ施設 ・住民の健康、体づくりと在宅親子がのびのびと活動できる機会として親しまれる施設づくりを目指す ➢文芸の郷レストラン ・地域食材を中心としたメニュー提供と宣伝強化に努め集客力アップを図る ➢安土城天主信長の館 ・館内展示物の保存管理に努め、有効利用する ・地域子どもたちに安土の歴史を視覚的に体験し学習できる場の提供 ・観光客やメディアへの対応など知名度アップと集客の取組みの実施 ・VR安土城シアターの周知を図り積極的に取り入れた自主事業を実施する ➢あど木っずランド、公園、多世代交流館 ・園内にゴミ箱を設置せずゴミの持ち帰りを徹底し環境を確保する ・多世代交流館は、開館とし効率的な運営に努める ・あど木っずランドは土砂崩れにより閉鎖しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢文芸セミナーヨ ・令和4年11月1日～令和5年8月31日まで間、改修工事によりホールが使用不能となったため、可能な範囲で工事期間までに自主事業を実施した ・はつらつコンサート・ワンコインコンサートなどの低料金で乳幼児から入場できるコンサートを開催した ・工事までの間、ホールでのオルガン見学会やオルガン教室を実施した。また、工事中は文芸の郷練習場の部屋を使用してオルガン教室を行った ➢スポーツ施設 ・あづちマリエートにあっては、令和4年11月1日から令和5年3月31日までの間、改修工事によりアリーナが使用不能となったため工事期間までに自主事業を実施した。 ・市内外を対象に幅広い年齢層の方が気軽に利用できる事業として、リトミック教室、エクササイズ&ヨガ教室、シニア健康教室を実施した ・健康増進に関する教室を実施するとともに情報発信を行った ・伝統芸能で織田信長にゆかりのある能楽教室を年間を通して実施した ➢文芸の郷レストラン ・文芸の各施設が改修工事により閉館したため令和4年12月1日から令和5年3月31日まで閉館した。 ・地場産食材を積極的に使用した料理を提供した ➢安土城天主信長の館 ・子ども向け歴史資料の無料配布など積極的な事業展開を実施した ・VR安土城シアターを取り入れての説明会や、マニュアルモードの操作を行っての解説などの事業を実施した ➢多世代交流館 ・12月～2月の間を除き毎週日曜日、各祝・休日および子ども向けの自主事業開催日に、メリーゴーランドの運行を行った。 令和4年7月から土曜日も開業を始めました。 	<p>（よかったと評価できる事項）</p> <p>各施設改修工事の影響で休館する期間があったが、事業の実施時期を調整することで年度当初の計画通りに事業を行えた。また、館の特性に即した独自性のある事業展開や、健康増進教室等、多世代に渡って広く誰しもが文化や芸術に触れる機会を提供した。</p> <p>（改善を要した事項と対応）</p> <p>特になし。</p> <p>（課題）</p> <p>広く近江八幡地域全体に当施設の魅力が伝わり、より多くの市民に活用いただけるアプローチの方法の検討。</p>
--	--	---	---	--

<p>施設設置の目的達成状況</p>	<p>(施設利用状況 利用促進策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文芸セミナーヨでは、ホールの優れた音響効果の魅力を存分に体感できる「生音」(アコースティック)を基本とした事業展開をし、だれもが気軽に本物の芸術に触れられる機会を提供する。 ・安土城天主信長の館では、タイムスリップ感覚で安土城の魅力をCG映像で体験できるVR設備の活用および、現代の名工にて復元された安土城天主希少価値を効果的に活かしつつ、地域の歴史文化を広く発信していける事業展開を行う。 ・あづちマリエート他のスポーツ施設では、第3者委員会を設置し、事業効果の検証や改善点などのアドバイスをいただきながら、人々が健康に充実した生活を送れるように、健康増進事業の実施と啓発を行う。 ・多世代交流館およびレストランの利用促進や、公共の場として人々が集えるよう安全安心な施設管理を第一として、周辺の自然や歴史色豊かな景観を保持し、環境に配慮した心安らぐ憩いの場を提供する。 	<p>◆公益目的事業◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽専門のコンサートホールとして優れた音響環境を持ち、県内の公共ホールで唯一のパイプオルガンおよび世界三大ピアノメーカーの一つであるベーゼンドルファー社製のピアノを保有し、その特徴を活かし「生の音」を重視した催しを行った ・地域密着型ホールの実現に努め、「鑑賞」「普及啓発」「参加育成」「参加型創造」等バランスのとれた事業を展開した ・安土城天主信長の館では、現在の名工が復元した安土城天主とバーチャルリアリティ映像としてCGの世界で再現されたVR安土城を、有意義に活用し、地域の文化を中心に全国に発信し歴史文化振興に寄与した ・織田信長やその時代背景を含め時代の流れの変革期に重要な役割を担った地域として、歴史に関連した伝統文化の学びの場を提供した ・スポーツ施設では、多世代にわたって市民や周辺地域の人々が気軽に参加できる健康教室等の事業を、検証と改善を繰り返し創意工夫しながら実施することにおいて、各年代層の健康増進に寄与した ・貸館事業として、利用者の視点で平等で利便性が良く安全安心に利用していただけるよう管理調整に努めた ・あづちマリエートにあっては、体育館としては数少ない空調完備の特性を活かし、管理運営に努めた ・施設を訪れた方々が芸術や文化に触れ、健康づくりの場として快適に過ごすことができるよう、また、興味や向学心を呼び起こすにふさわしい機会を提供できる接客に努めた <p>◆収益目的事業◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文芸の郷レストランにおいては、地場産の新鮮な食材を使用した地域色豊かなメニューやお弁当をとりそろえ、施設を訪れる人々や地域住民に美味しく食していただいた。また、収益性への考慮やサービス、衛生面に重きをおき安全安心な食の提供を行った ・安土城天主信長の館においては、歴史的背景豊かな特色のあるお土産品を販売し、地域に関わる歴史の伝承や観光に貢献するとともに売上の増加を目指した。また、テレビや書籍等のメディア取材についても、積極的に対応するとともに、予算の範囲内で広告掲載などのPR活動も行った ・ゴールデンウィーク中は、安土城跡の城ナビ館前で信長の館のチラシを観光客に配布するなどのPR活動を行った ・信長の館売店販売においてネット販売を開始した。 ・びわこビジターズビューローや市観光物産協会等に加えし情報を発信するとともに、安土地域観光関連団体ネットワーク会議に参加し、観光に関連する情報や意見交換を行った ・安土城跡、安土城考古博物館、安土城郭資料館、観光物産協会とで安土地域の新たな観光推進について協議した ・施設管理では主に貸出等において、個人利用者のみならず、学校、地域サークル等の団体が継続して安全に使用でき公平性のある運営管理を目指した ・人々が心安らぎ集える美しい景観づくりと維持に努めた 	<p>(よかったと評価できる事項)</p> <p>文芸セミナーヨでは、低価格で気軽に鑑賞できる事業のほか、オルガン奏者を育成する事業や市民も一緒にコンサートを作り上げる参加型の事業が実施された。今年度は特に参加型事業に重点を置き、新たに2事業展開された。また信長の館では、館の特性を生かした地域に密着した文化芸術振興事業を展開された。</p>
				<p>(改善を要した事項と対応)</p> <p>特になし。</p>
				<p>(課題)</p> <p>安定した経営を維持するための、レストラン等の収益目的事業の見直し。</p>

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和4年度実績	(よかったと評価できる事項)		
収支状況	【収入】		各施設が改修工事となり、施設利用料の減収や事業収入が減収となったが、固定費や人件費などの経費削減と市からの補償補填を活用し、減収への補填に努めた。 (改善を要した事項と対応) 特になし。 (課題) 原材料価格やエネルギーコスト等の上昇に係る経費の増加が経営を圧迫している。安定した経営ができるよう、収入増の方策の検討が必要である。		
	利用料金等収入	23,872,652 円		利用料金等収入	15,893,914 円
	売店・飲食収入	12,803,925 円		売店・飲食収入	9,672,273 円
	自主事業収入	3,208,150 円		自主事業収入	3,892,800 円
	指定管理料	44,503,000 円		指定管理料	44,503,000 円
	補助金等	4,601,394 円		補助金等	4,859,343 円
	事業活動収入合計	88,989,121 円		事業活動収入合計	78,821,330 円
	【支出】			【支出】	
	人件費	51,620,935 円		人件費	40,666,646 円
	事務費	21,161,447 円		事務費	22,595,522 円
	管理費	12,436,290 円		管理費	9,998,828 円
	自主事業費	2,497,384 円		自主事業費	3,455,110 円
事業活動支出合計	87,716,056 円	事業活動支出合計	76,716,106 円		

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	文芸セミナーヨでの自主事業においては、毎回アンケートを実施している。また、あづちマリエートでの各年代層での健康教室にあっては、毎回アンケート実施し、そのアンケート結果等を基に「健康増進事業検証委員会」の会議を12月に開催し事業の有効性を検証した。
評価頂いている内容	はつらつコンサートやワンコインコンサートにあっては、安価(500円)にて音響環境が整った本格的な音楽専用ホールで生音(アコースティック)のコンサートが鑑賞でき、ワンコインコンサートにあっては乳幼児の同伴が可能であり、事業の継続を望む声が多い。
苦情・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・信長の館のムービーシアターで上映している絢爛安土城(ショートバージョン)と安土城跡城ナビ館で上映している絢爛安土城(ダイジェスト版)とが同じである、また、酷似している旨のクレームについては、逐次文化振興課へ報告した ・文芸セミナーヨのホールにあっては、音響効果が良過ぎて音響装置(マイク～スピーカー)を使ったMC等は、反響しすぎて聞きづらいという意見もあった

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

<ul style="list-style-type: none"> ・安土城天主信長の館の入館者や文芸レストランの利用者の増加を図るためにも、安土地域における観光客の増加に向けたハード・ソフト面の各種施策の推進をお願いします ・コロナ禍や改修工事による施設の使用不能等で各種の収入が減少しているにもかかわらず、これに反して電気料金、灯油やLPガスをはじめとする燃料費、食材、各種需要品の価格が高騰しており、指定管理料についてこの点を考慮していただくようお願いいたします ・安土文芸の郷公園が開設して以来29年が経過し、施設・設備の老朽化が進んできています。施設利用者が安心・安全かつ快適に使用していただけるよう、今後も施設・設備の計画的な改修をお願いします
--

6. 指定管理者の自己評価コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が流行して3年目であり、相変わらず人流が滞っており、収益事業である信長の館の入館者数は開館以来過去最低人数であった。それにもかかわらず、人件費をはじめとして各経費の細部にわたるまで節約を行った結果、事業団の収支計算書における赤字額は最小にとどめることができた ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策においては、関連するガイドライン等に従って運営した結果、当施設でのクラスター感染の発生は無かった

7. 所属の総括コメント

<p>施設の適切な維持管理や健全な経営に努められたと評価する。自主事業においては、各施設改修工事に伴う休館期間があったものの、開催時期を前倒しすることで計画通りに実施された。また、各種事業でアンケート調査の実施や検証委員会による事業の検証が行われ、次年度の事業計画に反映させた。今後も、事後評価を通して事業内容の見直しや情報の収集・発信等を行いつつ、近江八幡市文化振興基本計画や近江八幡市スポーツ推進計画にのっとり文化芸術の振興、体育振興・健康増進、観光・地場産業の振興の拠点として取組を推進されたい。収益目的事業については、新たに信長の館の売店商品を休館期間中にインターネットでの販売を開始し、一定の収益を確保した。今後も収益増が見込める施設の活用方法等について、抜本的な見直しを含めて検討されたい。なお、令和5年度も文芸セミナーヨや体育施設等、施設の改修が予定されているため、利用者の安全に留意した施設管理をお願いする。</p>
--